

仙台市太白山自然観察の森 情報誌2026年 10月号 No.421

森のおくいもの10

リンドウ（リンドウ科）



朝夕が冷え込む季節になりました。秋の日差しを浴びて、草花や木々
色鮮やかになってきます。リンドウの花は、雨の日や夜には開かず、明るく
晴れた昼間に花弁を開きます。日暮れの時間もだいぶ早くなってきたこの頃、
森の散策は昼間の暖かい時間を中心に楽しむことをおすすめします。

神無月の森で、素敵な出会いがありますように。

【館長：濱中郁子】

森のことは

自然の様子やできごとを四字熟語やことわざなどに当てはめ、森で感じた言葉をお届けします

『生殺与奪（せいさつよだつ）』

昨年の夏は暑さが秋まで長引きましたので、今年も同様に暑くて秋の訪れが遅くなるという当初の予想でしたが、それが外れ天候不順で涼しい日もあったせいか、森の自然は二十四節季の暦通りの秋を感じられました。実りの秋を迎えましたが、全国ニュースを見ると秋雨前線や台風による長雨で、日照不足や水害が生じ、農作物に影響が出るなど心配な報道が流れています。

最近、自然は思う通りにはいかないとしみじみ感じます。大雨による被害にあったところもあるのに、渇水で貯水率が20%以下のダムが10ヶ所もあるようで、水源地に降ってくれればいいのにと感じてしまいます。農作物には日照りも駄目ですが、日照不足や多雨でも困ります。当たり前のことと感じていたちょうど良さは、自然の恵みでした。

自然の恩恵を得られる一方で地震や台風などの自然災害によって亡くなられる方も残念ながらいらっしゃいます。「生殺与奪」という言葉があります。「生かすことと殺すこと、与えることと奪うこと。どんなことでも自分の思うままにできること。相手の生死や利害の決定権をすべて握り、完全に支配すること。」という意味です。こんな難しい四字熟語は漫画やアニメでしか使われなさそうですが、自然はこの力があってこれは自然の摂理についての言葉だと思いました。これを簡単に言っているのがアニメ『もののけ姫』で、「シシ神は生命を与えもするし奪いもする」と言うセリフがあります。

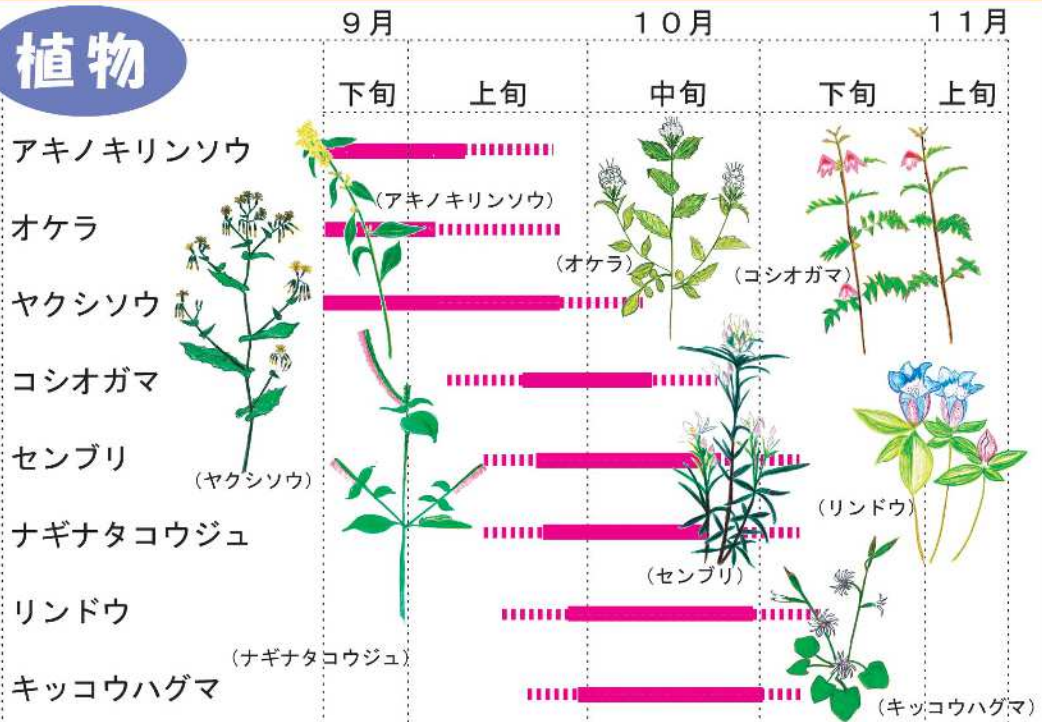
昔は自然に対して畏敬の念を持っていて、自然は恩恵をもたらしてくれるけど脅威でもあることを心得ていました。だからこそ自然を敬って大切に守っていたことが伺われます。地震や台風による被害のニュースを見て、自然を克服したと思っても、強大な自然の力には到底勝てないので、自然に生かされているという謙虚な気持ちを持つことが必要なのではと考えさせられました。

【レンジャー：新田隆一】



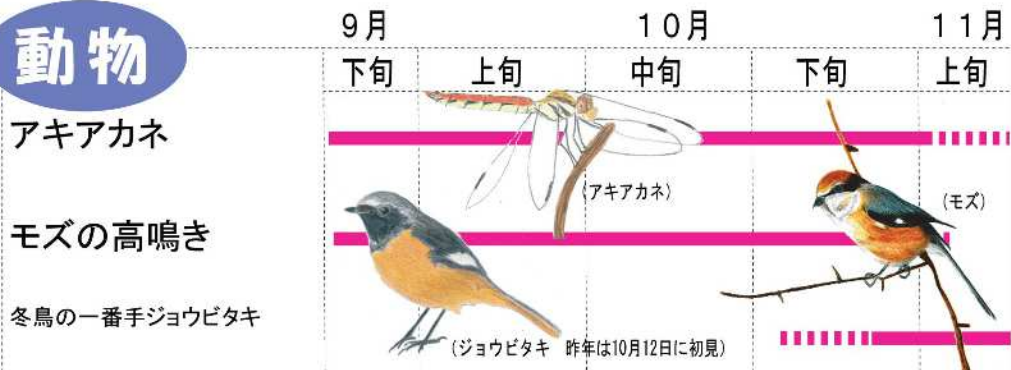
10月の生物ごよみ

植物



今年の仙台はお盆を過ぎるといつものように涼しくなり、エアコンなしで過ごせる日が多くありました。うだるような暑さも減り、過ごしやすい日々が続いています。そんな中、森では着実に秋の気配が深まっています。毎年冬鳥の一番手として姿を見せてくれるのがジョウビタキです。昨年は10月12日に飛来が確認されました。「ヒッヒッ」という可愛らしい鳴き声が聞こえるのも、もうすぐそこ。今年はいったい何日に会えるのでしょうか。季節の訪れをみなさんと楽しみに待ちたいと思います。

動物



【レンジャー：齋 正宏】

森の「あれこれ」



「カエルの子供へビの子供…」



①



②



③



④



⑤



⑥

秋の気配の観察の森ではカエルやへビの幼体（子供や若い状態）を見かけます。左の写真①はアズマヒキガエル、垂直な所ものしのし歩いてのぼります。写真②はヤマカガシ。首の黄色が目立ち、脱皮途中のためか皮のむけた体の前の方だけ黒と赤の模様が見えます。アズマヒキガエルを食べ、その毒を蓄積すると言われていますが幼体でも毒を持っているとの事、くれぐれも気をつけましょう。

さて、夏の終わりに落葉の上に置かれた白い卵を見つけました（③）。大きさは1 cm ほど。少し弾力があります。ケースに環境を再現して様子を見ました。ふ化が始まったのは12日後の早朝。④の写真では下の卵が割れ顔がのぞくと、あっという間に体全体をあらわし元気に動き出しました（⑤）。ニホンカナヘビの赤ちゃんです。トカゲの仲間で日本固有種、観察の森では晴れた暖かい日に普通に見られます。小さな体とつぶらな瞳、動きはまだぎこちなく、撮影のためケースの向きを変える度に明るい方に移動したり、天敵の認識がないのか手を近づけるとのってきたり（⑥）と、かわいい行動が見られました。飼育も考えましたがやはり野外に戻すことにし、そのままセンターの脇の植え込みに放しました。

また会えたら…【レンジャー：木田秀幸】

いきものの森



- ① 仏教の経典に登場する伝説の花で、3千年に一度咲く優曇華（うどんげ）の花とも言われていますが「クサカゲロウ」という虫の卵です。
 ② 幼虫は全身毛で覆われているクマケムシと呼ばれてます、成虫は鮮やかな色彩です「ヒトリガ」③ カイコ（蚕）の原種とされてます、おじさんのような顔ですが「クワコ」の幼虫です。④ ヘビの頭や目玉のような模様で、その下に小さな顔があります「カラスアゲハ」の幼虫
 ⑤ 木の枝などに擬態する「ヤスマツトビナナフシ」⑥ 不気味な模様ですが、尻尾につける尾角をピコピコしてる姿は、意外と可愛いかもしれませぬ「セスジスズメ」の幼虫です。



9月はまだ生き物の姿も多かったのですが、10月に入ると見かける姿も大分少なくなります。木々も色づき始め、木の実も熟して秋の深まりを感じますが、同時に収穫の秋や実りの秋とも言われてます、体重計に乗るのに注意が必要な季節になりました。

【レンジャー：菅井 潤】

イベント & お知らせ



◆「晩秋の秋保二口林道ウォーキング」

・ 11月7日(土) 10:00 ~ 14:30

【内 容】講師の案内で自然や歴史などの解説を聞きながら二口林道を歩きます

【定 員】20名 小学生以上 (中学生以下は保護者と参加)

【申込み】Eメールにて 10月31日(土) 必着(抽選)

◆「紅葉観察会」

・ 11月14日(土) 10:00 ~ 12:00

【内 容】秋の森を散策しながら紅葉を観察します

【定 員】15名 小学生以上 (中学生以下は保護者と参加)

【申込み】Eメールにて 11月4日(水) 必着(抽選)

◆「おはよう野鳥かんさつ」

・ 12月13日(日) 7:00 ~ 8:30

【内 容】講師の解説と案内で野鳥を観察しながら初冬の森を歩きます

【定 員】20名 どなたでも (中学生以下は保護者と参加)

【申込み】Eメールにて 11月30日(月) 必着(抽選)



※ 申込み専用メールアドレス taihaku@sendai-park.or.jp

自然観察の森の最新情報やイベントへのお申込み、
「森のおくりもの」バックナンバーはQRコードから



10月の休館日

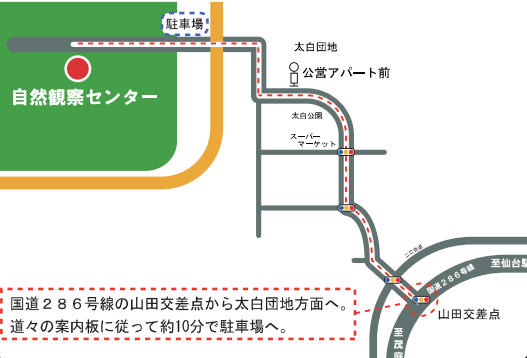
毎週月曜日(5日, 13日, 19日, 26日)

※月曜日が祝祭日の場合、翌日以降の平日が休館

駐車場から徒歩約5分で到着



自家用車の場合



国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。



宮城交通バスの場合

- ① 仙台駅 乗車時間 約40分
 - ② 長町駅東口 乗車時間 約30分
 - ③ 八木山動物公園駅 乗車時間 約10分
- ※③のみ乗車可「太白団地、山田自由ヶ丘經由仙台南ニュータウン行」
【行先】①②③ 「太白団地經由山田自由ヶ丘車庫行」乗車
いずれも 公営アパート前 下車→ 徒歩15分

2026年 10月号

発行：(公財)仙台市公園緑地協会

編集：仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター

〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森36-63

TEL: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133